



2001年3月期 決算説明会

アイフル株式会社

2001.5.18 (FRI)

- 注:業績予想に関する注意事項 -

このデータブックの数値のうち、過去の事実以外のアイフル株式会社の計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点においてアイフル株式会社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、現実の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性があります。ここでの潜在的なリスクや不確定要因として考えられるものとしては、例えば、アイフル株式会社を取り巻く経済情勢や消費者金融を取り巻く市場規模の変化、債務不履行に陥る顧客の割合、アイフル株式会社が支払う借入金利率のレベル、法定貸付上限金利のレベル等が考えられますが、これらに限りません。なお、この資料はいかなる証券の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

2001年3月期 実績

無担保ローン新規獲得

■ 新規獲得件数(無担保ローン)

01/3期実績: 45万3千件(前年同期比 6.7%増)

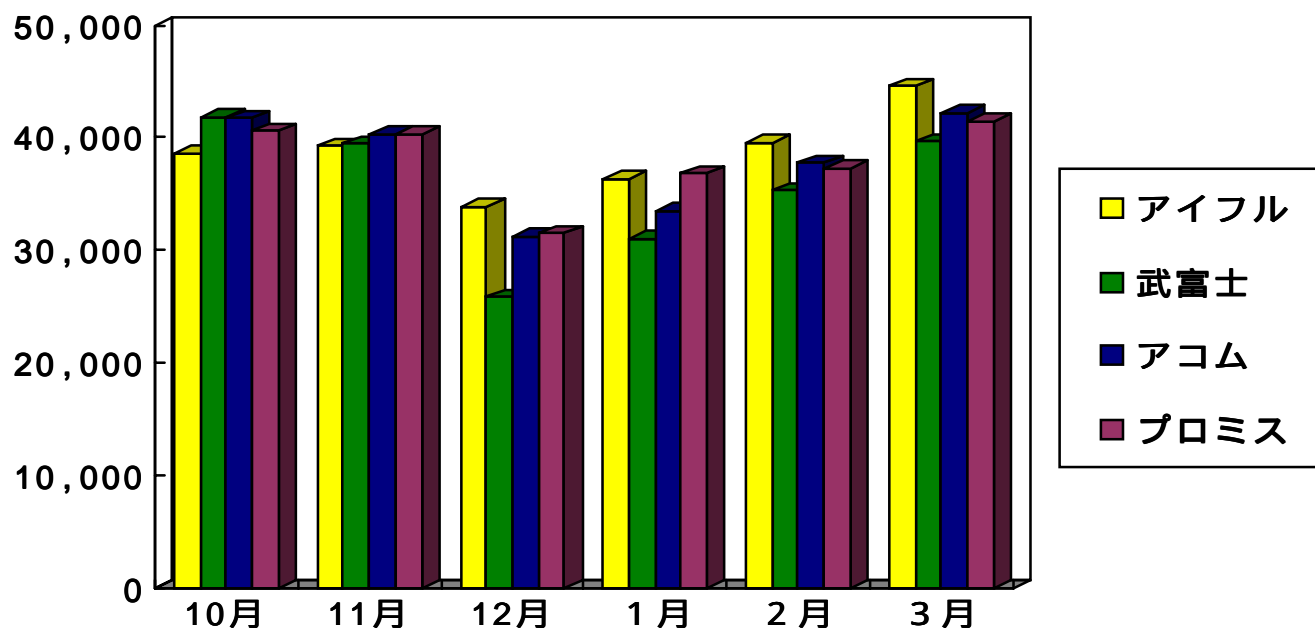
00/3期実績: 42万5千件(前年同期比 4.6%増)

■ 口座数(ALL)

01/3期実績: 212万1千口座(前年同期比 7.4%増)

00/3期実績: 197万5千口座(前年同期比 8.4%増)

前下半期の無担保ローン新規獲得推移



2001年3月期 実績

不動産担保ローン

- 特長
 - マーケットの将来性があり、且つ競合がない
 - 担保により債権が保全されるために安全性が高い
 - 無担保ローンとのシナジー効果により、利益への貢献も大きい
- 新規獲得件数
 - 2万2千件(前年同期比 9.2%増)
- インターネット経由での獲得
 - 申込件数 : 352件
 - 獲得件数 : 24件

事業者ローン

- 新規獲得件数
 - 4千件(前年同期比 19.3%増)

2001年3月期 実績

営業貸付金残高

■ 2001年3月期 営業貸付金残高

無担保ローン	9218億円	(前年比+13.9%)
不動産担保ローン	2256億円	(前年比+24.4%)
事業者ローン	121億円	(前年比+18.5%)
ALL	1兆1597億円	(前年比+15.8%)

■ 2001年3月期 口座数

無担保ローン	2050千口座	(前年比+7.0%)
不動産担保ローン	60千口座	(前年比+22.0%)
事業者ローン	10千口座	(前年比+25.8%)
ALL	2121千口座	(前年比+7.4%)

■ 2001年3月期 新規獲得件数

無担保ローン	45万3千件	(前年比+6.7%)
不動産担保ローン	2万2千件	(前年比+9.2%)
事業者ローン	4千件	(前年比+19.3%)
ALL	47万9千件	(前年比+6.9%)

2001年3月期 実績

貸出金利回り

■ 貸出金利回り

	00/3	01/3	
■ 無担保ローン	26.6%	26.0%	(前年比▲60bp)
■ ALL	25.0%	24.3%	(前年比▲70bp)

■ 貸出金利回りの低下要因

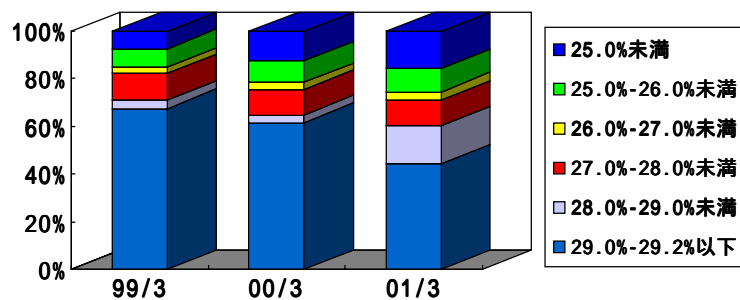
■ 無担保ローン

- » 「出資法改正」に伴う、上限金利の一律引下げ (29.2%→28.8%)
- » 「優良顧客対象の高額商品」の占有率の増加 (50超残高比率:29.7%→35.2%)

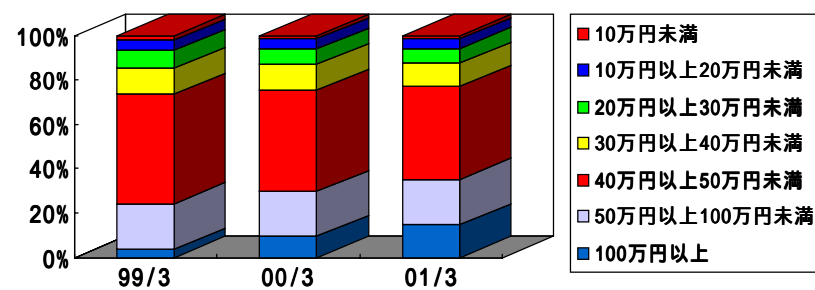
■ ALL

- » 金利の低い、不動産担保ローンの占有率増加 (18.1%→19.4%)

貸付利率別残高構成



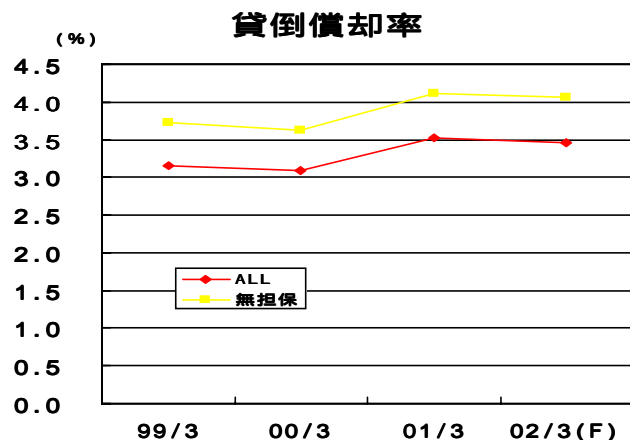
貸付金額別残高構成



2001年3月期 実績

貸倒・アセットクオリティ

■ 貸倒償却



(計画)

償却率	1999年3月	2000年3月	2001年3月	2002年3月
オール	3.16	3.09	3.52	3.46
無担保ローン	3.73	3.63	4.12	4.07

■ 顧客属性における特徴的なポイント

■ 新規顧客の属性

	00/3	01/3	
» 他社借入ゼロ件比率	: 34.2%	→ 36.1%	⇒ 良化の兆し
» 平均他社借入件数(LE)	: 1.40件	→ 1.34件	

2001年3月期 実績

資金調達

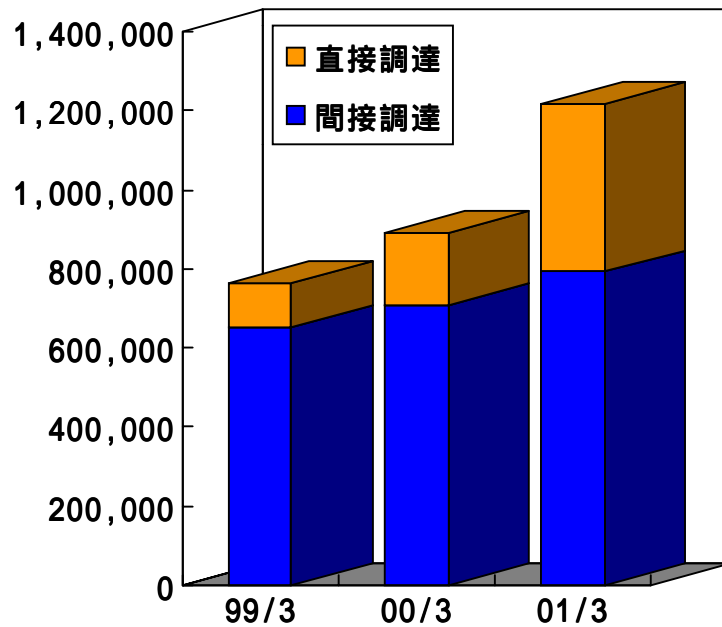
「調達手段の多様化」

- 積極的な社債発行（当期発行額：2380億円、うち、リテール：1700億円）
- 当社初の国内銀行によるシンジケートローン（調達額：700億円、金融機関41行が参加）

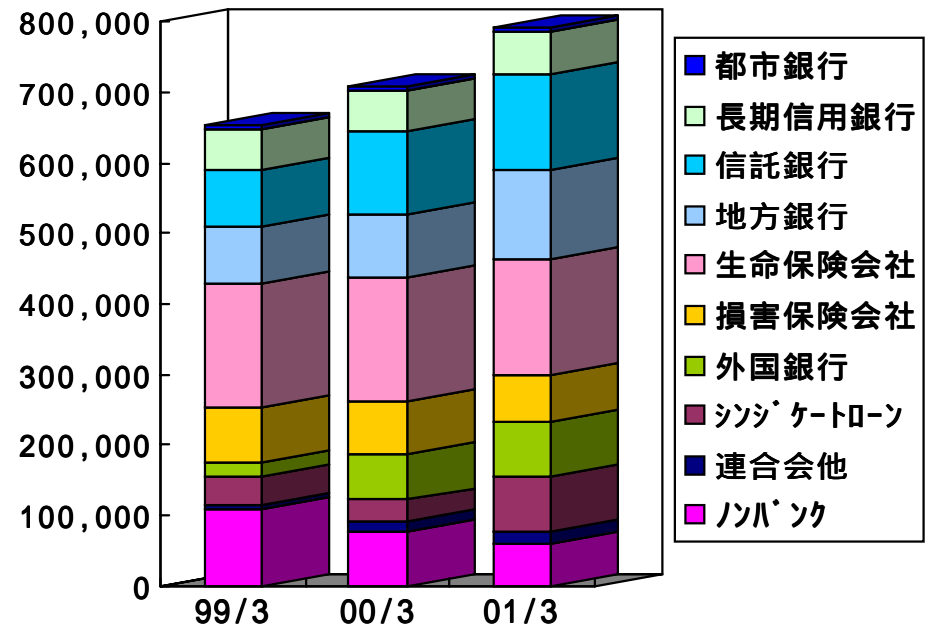
「調達の質の向上」

- ノンバンク比率 = 99/3期:14.4% → 00/3期:8.7% → 01/3期:4.9%
- 調達コストALL = " 3.0% → " 2.8% → " 2.5%

調達種別



形態別 借入金残高



2001年3月期 実績

利益の概況(単独)

2001年3月期 実績(単独)

	01/3 < 単独 >	
		増減率(%)
営業収益	2,708億円	13.5
経常利益	1,033億円	21.6
当期純利益	485億円	10.0
ROE	17.5%	-1.9
ROA	3.5%	-0.5

ROE

17.5%

【特殊要因】

- ・前期、株式交換方式で信和を買収したことによる「資本増加、約44億」
- ・破綻生保関連等での「特別損失110億」

特殊要因を
除くと...

19.4%

ROA

3.5%

【特殊要因】

- ・「ライフ買収資金の調達」と「ライフへの払込」

3.8%

2001年3月期 実績

利益の概況(連結)

■ 2001年3月期 実績(連結)

	01/3 < 連結 >
営業収益	2,806億円
経常利益	1,035億円
当期純利益	482億円
R O E	15.7%
R O A	2.6%

2001年3月期 実績

経費面での増減要因

(単位：百万円)

	00/3 実績	01/3 実績	増減率(%)
営業収益	238,532	270,827	13.5
営業費用	151,095	167,507	10.9
営業利益	87,437	103,319	18.2
経常利益	85,009	103,372	21.6
当期純利益	44,104	48,512	10.0

- 営業費用：「貸倒引当金繰入額の増加(貸付金)」「社債利息の増加」
「広告宣伝費の増加」
- 特別損失：「破綻生保への劣後ローン、劣後債、株式」
「退職給付債務の償却」

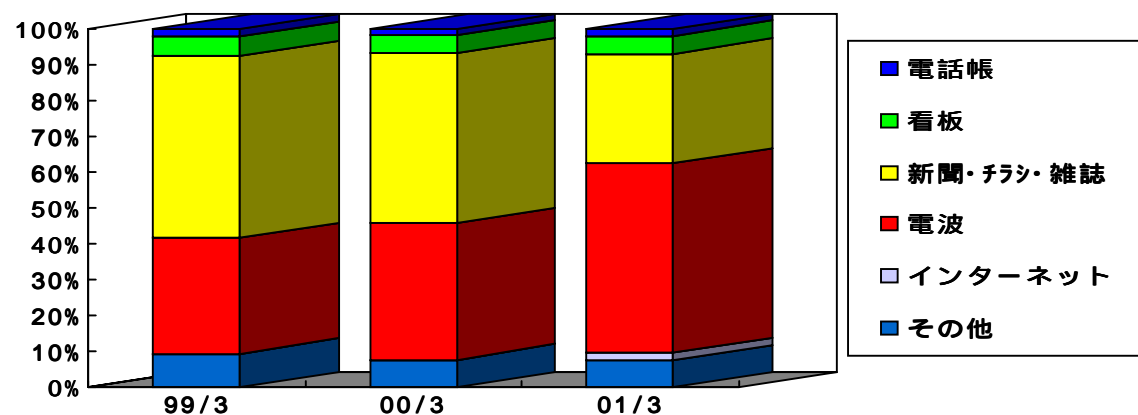
2001年3月期 実績

広告宣伝費

- 投入総額：170億円（前期比+28%）
- 実際に「新規獲得件数がトップ」となっており、効果が出ている
- 「ブランドイメージの格差」が「新規獲得の格差」を生む要因となりつつある
- 「将来にわたる成長の種子を蒔く」ための「先行投資」

新規獲得コスト	1999年3月	2000年3月	2001年3月	2002年3月(計画)
P/L広告費(百万)	12,814	13,303	17,042	19,669
新規無担保ローン(千)	406	425	453	473
無担保ローン獲得単価(円)	31,562	31,301	37,620	41,583

広告宣伝費の投下種別





2001年3月期 実績

特別損失

〈特別損失〉 総額:▲109億円

■ 主な内訳

- » 劣後ローン:千代田生命▲30億、第百生命▲15億、協栄生命▲10億
- » 株式・劣後債:協栄生命▲4.4億、千代田生命▲10億
- » 退職給付債務:▲10億
- » その他:固定資産除却損、固定資産売却損など

2001年3月期 実績

無担保ローン子会社の2001年3月期 実績

《2001年3月期 実績》

<ハッピークレジット>

営業貸付金残高 271億円(当初計画:265億円)

新規獲得件数 2万5千件(当初計画:2万4千件)

= 30%成長(年率)

<信 和>

営業貸付金残高 168億円(当初計画:164億円)

新規獲得件数 1万件(当初計画:9千件)

= 25%成長(年率)

- アイフルグループとしての低コストでの資金調達へ借換え
 - 調達コスト → ハッピークレジット:2.8% 信和:2.9%
- アイフルのスコアリングノウハウ導入による貸倒抑制
 - 償却率 → ハッピークレジット:6.1% 信和:3.1%

30%の残高成長と同時に、
コスト削減、効率化を実現

2002年3月期 計画

無担保ローン子会社の2002年3月期 計画

《2002年3月期 計画 / 業績》

■ <ハッピークレジット>

営業貸付金残高 334億円 (前年比+23%)

新規獲得件数 3万3千件 (前年比+31%)

■ <信 和>

営業貸付金残高 211億円 (前年比+25%)

新規獲得件数 1万4千件 (前年比+41%)

《2002年3月期 計画 / 経常利益》

ハッピークレジット: 17億円

信 和: 17億円

合 計: 34億円

連結経常利益への貢献 30億円

信和「のれん代」償却のための
連結調整勘定▲4億円

2002年3月期 計画

営業貸付金残高の計画

■ 新規貸付件数

無担保ローン	473千件	(前年比+ 4.5%)
不動産担保ローン	30千件	(前年比+ 37.5%)
事業者ローン	8千件	(前年比+111.9%)
ALL	513千件	(前年比+ 6.9%)

■ 口座数

無担保ローン	2187千口座	(前年比+ 6.7%)
不動産担保ローン	78千口座	(前年比+28.4%)
事業者ローン	15千口座	(前年比+55.7%)
ALL	2281千口座	(前年比+ 7.5%)

■ 営業貸付金残高

無担保ローン	1兆 284億円	(前年比+11.6%)
不動産担保ローン	2831億円	(前年比+25.5%)
事業者ローン	186億円	(前年比+52.5%)
ALL	1兆3302億円	(前年比+14.7%)

2002年3月期 計画

貸出金利回りの計画

■ 貸出金利回り(計画)

	01/3		02/3	
■ 無担保ローン	26.0%	→	25.6%	(前年比▲40bp)
■ ALL	24.3%	→	23.8%	(前年比▲50bp)

■ 商品政策

- 金利が低い、優良顧客対象の高額商品占有率増加
- 無担保ローンより金利が低い、不動産担保ローンの占有率増加

<高額商品の占有率>

年度	00/3	01/3	02/3
残高占有率	29.7	35.2	40.0

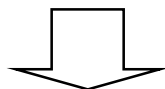
<不動産担保ローンの占有率>

年度	00/3	01/3	02/3
残高占有率	18.1	19.4	21.2

2002年3月期 計画

営業費用

- 貸倒償却
 - 不良債権の発生率は前期下期から落ち着きを見せている



貸倒償却率(計画): 3.46%

- 資金調達
 - 調達金利(想定)
 - » ALL: 2.9%(+40bp)
 - » 長プラ想定: 上期2.2%、下期2.4%、期中2.3%

(計画)

	2000年3月	2001年3月	2002年3月
間接調達コスト	2.9	2.6	3.4
直接調達コスト	2.3	2.1	2.2
合計	2.8	2.5	2.9
長期プライムレート	2.2	1.85	2.3

2002年3月期 計画

利益項目(单独)

(単位：百万円)

	01/3 実績	02/3 計画	増減率(%)
営業収益	270,827	307,974	13.7
営業費用	167,507	194,371	16.0
営業利益	103,319	113,602	10.0
経常利益	103,372	116,000	12.2
当期純利益	48,512	60,249	24.2

2002年3月期 計画

連結利益計画

■ グループ会社利益計画(2002年3月期)

(単位:百万円)

	アイフル	ライフ	ハッピー	信和	ビジネス	山陽信販	連結調整勘定	連結
営業収益	307,974	67,578	8,101	5,314	1,424	2,229	0	392,620
営業費用	194,371	65,278	6,422	3,605	2,740	1,979	-557	273,838
営業利益	113,603	2,300	1,679	1,709	-1,316	250	557	118,782
経常利益	116,000	2,419	1,679	1,720	-1,316	250	-3,735	117,017
税引前利益	115,630	2,419	1,573	1,558	-1,316	258	-3,735	116,387
当期純利益	60,249	1,410	753	795	-709	148	-3,451	59,195

ライフについて

信販・カード業界の現状をどう見るか

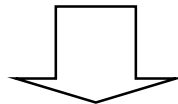
- 信販・カード市場は飽和していない
 - オートローン・保証を除く売掛金残高では、年間10%成長が可能

- 信販・カード事業は必ずしも薄利ではない

「ショッピング」： ミニマムペイメント方式導入でのリボ化促進

「個品」： オートローン等の不採算分野からの撤退
リスクプライシング

「保証業務」： コスト採算ラインを8%と設定



売掛金残高に対する、税引前ROAの目標を、『4%』と設定

ライフについて

B/S（資産）2001年3月末現在

■ 営業債権

営業債権	B/S	(オフバランス化債権)	※1
カード事業	679億円	1,250億円	1,929億円
総合あっせん	356億円	274億円	630億円
カードキャッシング	323億円	976億円	1,299億円
消費者金融事業	154億円	490億円	644億円
個品事業	469億円	922億円	1,391億円
信用保証	1,843億円	0億円	1,843億円
その他	253億円	0億円	253億円
割賦売掛金合計	3,400億円	2,663億円	6,063億円

■ ※1 オフバランス化した債権をバランスシートに上乗せした場合

ライフについて

カード事業の現況

■ カード事業主要計数

有効カード会員数	748万人
うち、プロパーカード会員数	84万人
提携カード会員数	654万人
うち、国際カード会員数	318万人
加盟店社数	7.3万社

■ カード利用率

有効カード会員数	
ショッピング残有り会員数	87.7万人
キャッシング残有り会員数	64.1万人
両方残有り会員数	20.7万人

■ 平均利用単価

ショッピング	8.4万円
キャッシング	22.6万円

■ カード発行数

期中カード発行総数	194万枚
うち、プロパーカード	7万枚
提携カード	187万枚

ライフについて

キャッシング・個品事業の現況

■ デミ(カード)キャッシング

- キャッシュポイント(店舗 30店、ATM・CD 66,044台)
- デミ会員数: 18.5万人
- 口座単価: 33.1万円

■ 個品あっせん

- 個品顧客数: 73万5千件
- 利用単価: 22万円
- 売掛残高: 1391億円

<構成比>

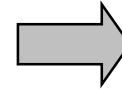
- オートローン 49.7%
- 一般商品 28.2%
- 特定商品 22.1%

ライフについて

2002年3月期の経営テーマ

■ 『社内体制の確立』

「守備的組織から攻撃的組織へ」
「寸胴型組織からピラミッド型組織へ」



「営業成績を上げる」「収益を上げる」

企業カルチャーの創造

- ・組織の見直し
- ・人事／評価／報酬制度の見直し

■ 『営業基盤の確立』

「積極的な広告宣伝」 : 知名度アップ、ブランドイメージの浸透・向上

「営業ネットワークの拡充」 : 集客力、顧客利便性の向上

「顧客ニーズに応える施策」 ミニマムペイメントの導入、アイフルとのATM相互
乗り入れ、ライフマスターカードの即時発行

「加盟店ニーズに応える施策」 与信審査の効率化、スピードアップ、承認率向上、
限度額アップ



ライフについて

経費削減の実施

- 経費削減額(2002年3月期計画) : 総額 ▲60億円

<経費削減の一例>

支店家賃は、営業上立地が重要でないところについて、全て30%カット

ライフについて

2002年3月期 計画

■ 2002年3月期(計画)

【売掛金残高目標】

総合あっせん	753億円
カードキャッシング	1,589億円
個品事業	1,634億円
消費者金融事業(デミ)	786億円
銀行保証	772億円
その他、住宅ローン等	526億円
売掛金残高合計	6,063億円
(オンバランス)	

カード新規発行枚数: 127万枚
期末有効カード: 841万枚

【利益指標】

営業収益	803億円
営業費用	780億円
金融費用	161億円
貸倒コスト	107億円
広告宣伝費	50億円
人件費	140億円
システム開発費	108億円
経常利益	24億円

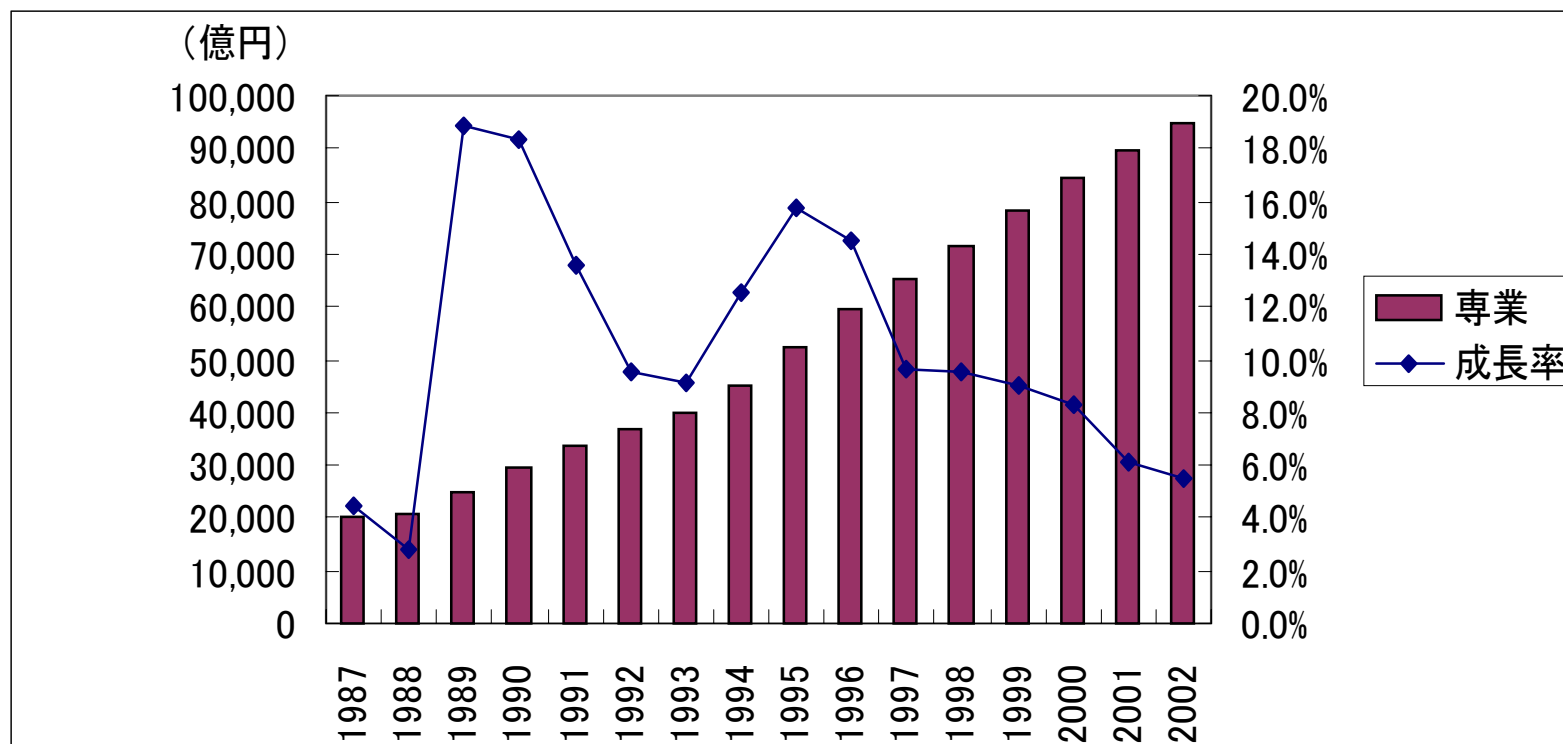
■ 中期目標

- 顧客数: 1000万人
- ROA: 2% (売掛金残高利回り目標 4%)

アイフルグループについて

消費者金融市場の残高予測

消費者金融(専業)市場の残高予測



アイフルグループについて

基本方針

【アイフルグループの基本方針】

個人(リテール分野)の総合金融を目指す

1. 商品の多様化を目指す

- ①3つの商品(無担保ローン、不動産担保ローン、事業者ローン)
- ②保証
- ③カード
- ④個品
- ⑤その他派生業務

2. チャネルの多様化を目指す

(直接チャネル)

- ①店舗、自動契約機
- ②インターネット、電話

(間接チャネル)

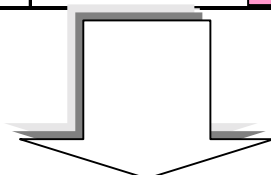
- ①ハウスカード、提携
- ②加盟店
- ③銀行保証

アイフルグループについて

アイフルグループのポートフォリオ

【リスク・商品セグメントによるアイフルグループのポートフォリオ】

商品 リスク	信用	不動産担保	事業者ローン	ライフ 決 済 機 能	保証 提携	個品	カード	
ハイリスク	アイフル ライフ(デミ) ハッピークレジット 信和 山陽信販	アイフル	アイフル				ライフ	ライフ (ショッピング)
ミドルリスク	ライフ (カードキャッシング)	アイフル	ビジネクスト			アイフル ライフ ビジネクスト	ライフ	ライフ (ショッピング)
ローリスク								ライフ (ショッピング)

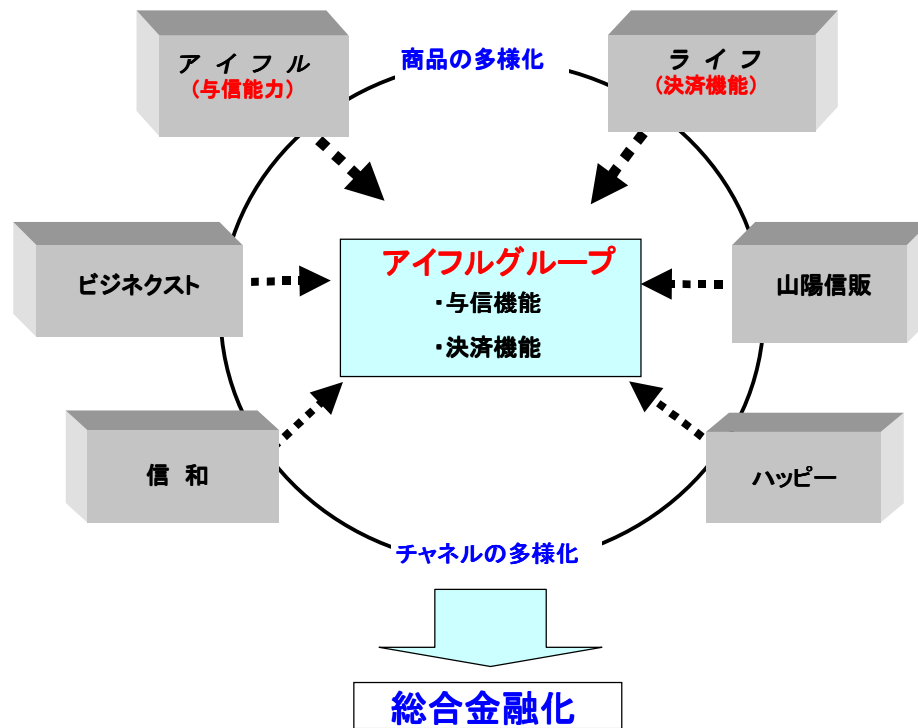


全ての顧客に対し与信チャンスを確保

アイフルグループについて

アイフルグループ

◎【グループ化によるシナジー効果】



- スケールメリットによる収益拡大
- シナジー効果による利益拡大
- 高成長・高収益の持続

添付資料(1)

株式会社ライフ 貸借対照表(2001年3月31日現在)

(単位 百万円:未満切り捨て)

科 目	金 額	構成比 (%)	科 目	金 額	構成比 (%)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	379,961	93.7	流動負債	331,081	81.7
現金及び預金	55,195		支払手形	9,263	
受取手形	947		買掛金	13,276	
割賦売掛金	105,694		信用保証買掛金	184,378	
営業貸付金	49,964		短期借入金	82,960	
信用保証割賦売掛	184,378		預り金	25,136	
前払費用	570		引当金	1,354	
未収収益	5,678		割賦利益繰延	4,917	
繰延税金資産	2,608		その他	9,797	
その他	9,285				
貸倒引当金	△34,358		固定負債	4,090	1.0
固定資産	25,353	6.3	退職給付引当金	3,893	
有形固定資産	7,466		その他	196	
貸与資産	87		負債合計	335,171	82.7
その他の有形固定	7,379				
無形固定資産	4,792		(資本の部)		
投資その他の資産	13,093		資本金	70,000	
			資本準備金	55,881	
			利益準備金	1,116	
			欠損金	56,740	
			別途積立金	9,170	
			当期末処理損失	65,910	
			(うち当期利益)	-139,837	
			評価差額金	△114	
			資本合計	70,142	17.3
資産合計	405,314	100.0	負債及び資本合計	405,314	100.0

添付資料(2)

株式会社ライフ 損益計算書(2001年3月31日現在)

(単位 百万円:未満切り捨て)

科目	第41期	第42期	増減金額
	H12.7.1~H13.1.31	H13.2.1~H13.3.31	
営業収益			
総合あっせん	4,268	1,344	△2,924
個品あっせん	7,384	1,681	△5,703
信用保証割賦売掛金	3,360	775	△2,585
融資	27,120	7,354	△19,766
その他の営業収益	4,036	829	△3,207
営業収益合計	46,168	11,983	△34,185
営業費用			
販売費及び一般管理費	65,685	16,350	△49,335
金融費用	38	696	658
営業費用合計	65,724	17,047	△48,677
営業利益	△19,555	△5,063	14,492
経常利益	△19,374	△5,024	14,350
特別利益	50	139,478	139,428
(債務免除益)	-	(137,817)	(137,817)
特別損失	28,147	4,242	△23,905
税引前当期純利益	△47,471	130,211	177,682
法人税・住民税等	67	18	△49
法人税等調整額	-	△9,644	△9,644
当期純利益	△47,538	139,837	187,375
前期繰越損失	168,579	205,747	37,168
過年度税効果調整額	-	-	-
当期未処理損失	216,117	65,910	△150,207

添付資料(3)

株式会社ライフ 業績および財産の状況

【業績および財産の状況の推移】

年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度			
	(9年4月1日～ 10年3月31日)	(10年4月1日～ 11年3月31日)	(11年4月1日～ 12年3月31日)	(12年4月1日～ 13年3月31日)	(12年4月1日～ 12年6月30日)	(12年7月1日～ 13年1月31日)	(13年2月1日～ 13年3月31日)
区分	第37期	第38期	第39期	合計	第40期	第41期	第42期
取扱高 (百万円)	861,743	725,119	688,832	521,043	128,705	300,491	91,847
営業収益 (百万円)	89,050	84,710	79,218	—	20,726	46,168	11,983
経常利益 (百万円)	1,720	1,738	1,305	—	△1,328	△19,374	△5,024
当期利益 (百万円)	702	△1,801	△141,366	—	△27,225	△47,538	139,837
総資産 (百万円)	1,300,424	1,152,646	906,029	—	817,073	700,188	405,314